



ペイントアートに取り組む生徒ら＝浜松市中央区で

## 馬込川沿い 中学生がアート作品

馬込川の景観向上につなげようと、浜松市曳馬中学（中央区）の美術部員10人が14日、同区の川沿いの道路の壁面にペイントアートを施した。

部員らは青や赤、黄色などの水性ペンキを使い、縦1.5メートル、横4.5メートルの壁面三カ所に、虹や川、魚、鳥を描き、生き生きとした馬込川の自然を表現した。2年生の遠藤羽夕那さんは「大きな絵で難しかったけど、美術部のみんなで協力して取り組めてうれしい」と話した。

さくら通りと呼ばれ、休憩所が近くにある同じ場所には、曳馬中の美術部が24年前に手がけたペイントアートがあったが、色あせていた。曳馬町本郷自治会（斉藤敏幸会長）が「美観の向上と生徒の思い出づくりになれば」と壁面を白く塗った上で同校に依頼した。（田中伸一）

2024年12月15日（日） 中日新聞